

平成21年1月
長官官房総務課

第17回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成20年11月5日(水)午後1時00分から午後3時10分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英 首都大学東京都市教養学部長(座長)

妹尾 堅一郎 東京大学特任教授

田邊 國昭 東京大学大学院法学政治学研究科教授

西川 元啓 新日本製鐵株式会社顧問

櫻井 敬子 学習院大学法学部法学科教授

警察庁

片桐 裕 官房長

金高 雅仁 総括審議官

井上 美昭 官房審議官(生活安全局)

西村 泰彦 官房審議官(刑事局)

深草 雅利 官房審議官(交通局)

石井 隆之 官房審議官(警備局)

吉原 順二 技術審議官

種谷 良二 総務課長

植田 秀人 総務課情報公開・個人情報保護室長

若田 英 国際課課長補佐

大平 修 科学警察研究所総務部長(オブザーバー)

4 議題

(1) 国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画(案)

(2) 平成21年度政策評価の実施に関する計画(案)

(3) 平成21年度実績評価計画書(案)

(4) 総合評価書 警察による国際協力の推進(案)

(報告事項)

- ・ 規制の事前評価書の作成・公表について

5 議事要旨

- (1) 「国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画（以下「基本計画」という。）（案）」、「平成21年度政策評価の実施に関する計画（以下「実施計画」という。）（案）」及び「平成21年度実績評価計画書（以下「実績評価計画書」という。）（案）」について、事務局から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

暦年単位のデータと年度単位のデータについて、政策評価において使う際の基準を明確にする必要がある。

実績評価方式の各業績目標について、基本計画に掲げる政策評価の5つの観点（必要性、効率性、有効性、公平性及び優先性）のうちどの観点に基づいて評価するのかを明確にする方がよい。

実績評価計画書（案）の重要犯罪及び重要窃盗犯の検挙率に関する業績指標の達成目標は、表現が明確ではないことから、明確にできないか。

消費者に関する事犯は大きなテーマであることから、今後、実績評価計画書における業績目標の設定をより充実させる方向で検討してはどうか。

基本計画（案）、実施計画（案）及び実績評価計画書（案）における「IT」（又は「ICT」）といった用語については、当該用語に係る政府の使用状況を踏まえた上、適切なものを選択して使用する方がよい。

- (2) 「総合評価書 警察による国際協力の推進（案）」について長官官房から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

海外の治安をよくすることが結果的に日本の治安をよくすることにつながるという考え方の定着状況や、海外へ職員を派遣する際の安全確保の状況等について、言及した方がよいのではないか。

- (3) その他、銃砲刀剣類所持等取締法の一部を改正する法律案により新設される規制の事前評価書の作成・公表について、事務局から説明がなされた。